

東海経済レポート(2021年8月)

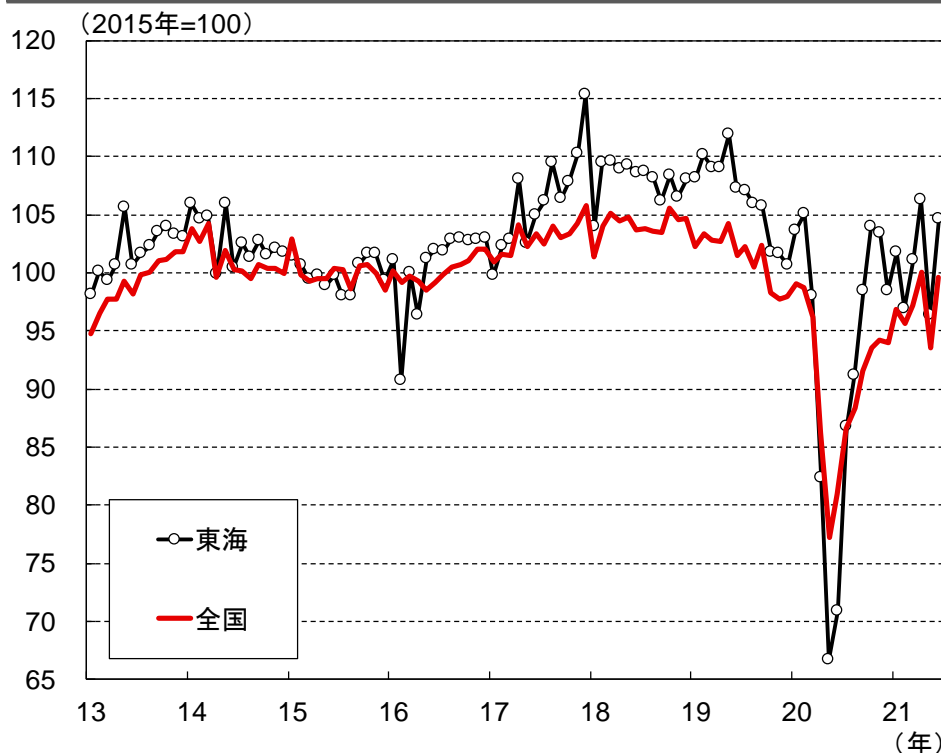
2021年8月26日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室(名古屋)

概況・生産

- 東海経済は緩やかな持ち直し基調を維持しているが、新型コロナウイルス感染拡大により東海3県(愛知、岐阜、三重)で緊急事態宣言が再発令されるなど、景気への下押し圧力が足元でやや強まっている。暫くは、各種制限措置の影響や感染症・医療逼迫への警戒が個人消費の下押し要因となるほか、半導体の供給不足も生産回復の重石に。その後は、ワクチン接種の進展とそれを受けた制限措置の段階的な緩和により、景気の回復基調は次第に安定化していく見込み。
- 6月の鉱工業生産指数は前月比+8.6%と、前月の落ち込みからの反動もあり大幅に上昇、コロナ禍直前の2020年2月と略同水準に。業種別にみると、当地域主力の輸送機械が同+16.4%、電気機械が同+2.7%、生産用機械が同+8.1%、電子部品・デバイスが同+1.7%と、それぞれ上昇。

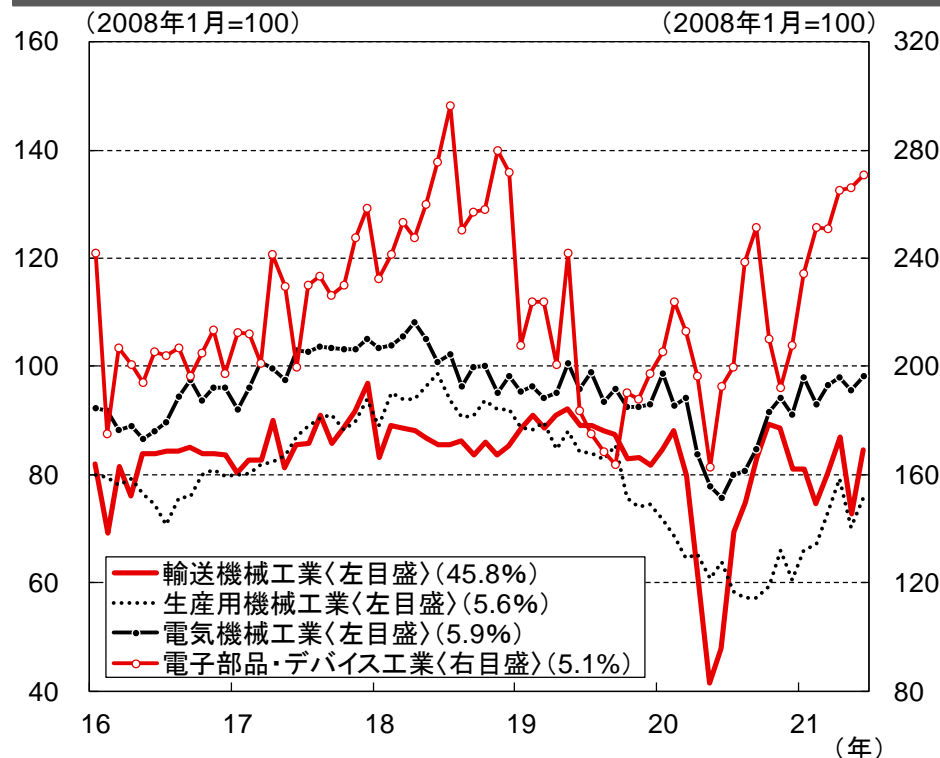
鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

業種別の鉱工業生産指数(東海)



(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

2. ()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準。中部経済産業局算出)

(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

景況感・輸出

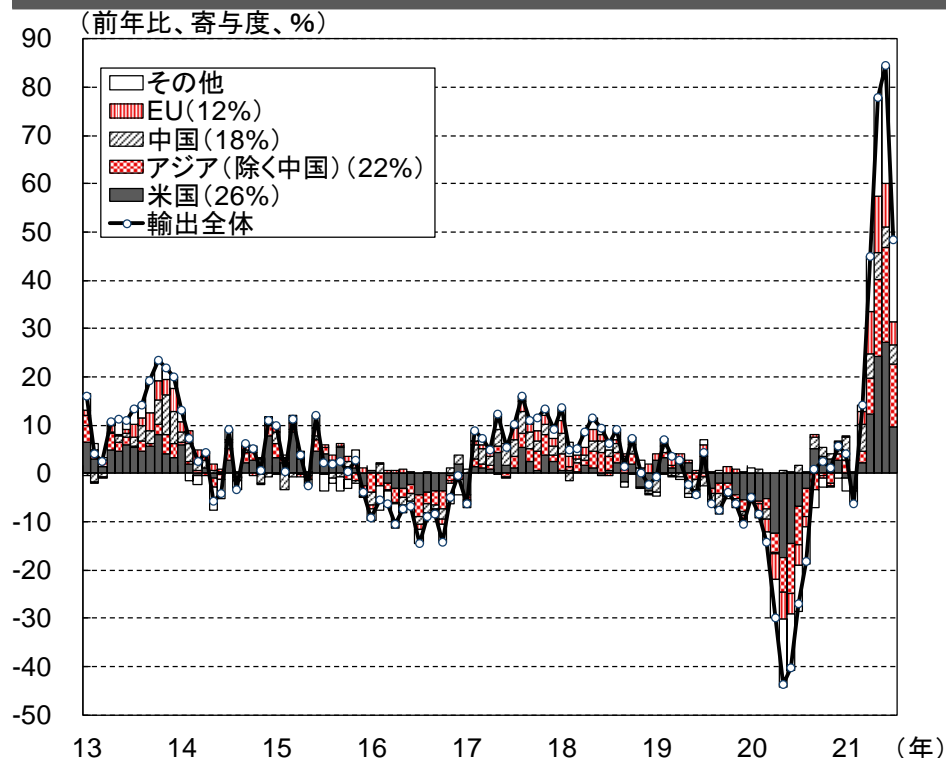
- 7月の景気ウォッチャー調査の現状判断DIは、50.4(前月比+4.8ポイント)と2カ月連続で改善。東海は全国に比べて改善幅が大きく、好不況の分かれ目である50を上回った。
- 7月の輸出額(円ベース)は、前年がコロナ禍の影響で大幅に減少していた反動もあり前年比+48.5%と大幅に増加、金額は1.8兆円とコロナ禍前の2019年同月を0.1兆円上回った。地域別では、米国向け(同+31.7%)、EU向け(同+42.3%)、中国向け(同+18.3%)など主要国向けがいずれも増加、品目別でも自動車や自動車部品、工作機械など主要品目が揃って前年比5割以上増加。

景気ウォッチャー調査(現状判断DI)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

輸出額(東海)

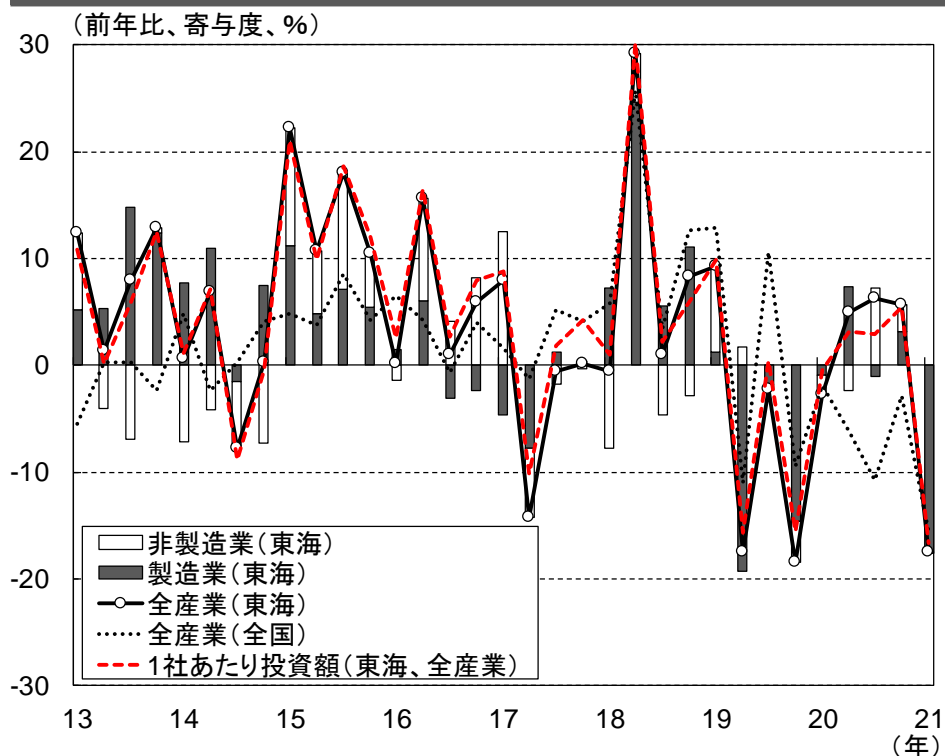


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2. ()内の数値は2020年輸出総額に占めるシェア。
3. EUの増減率は加盟国の増減を踏まえて算出。
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

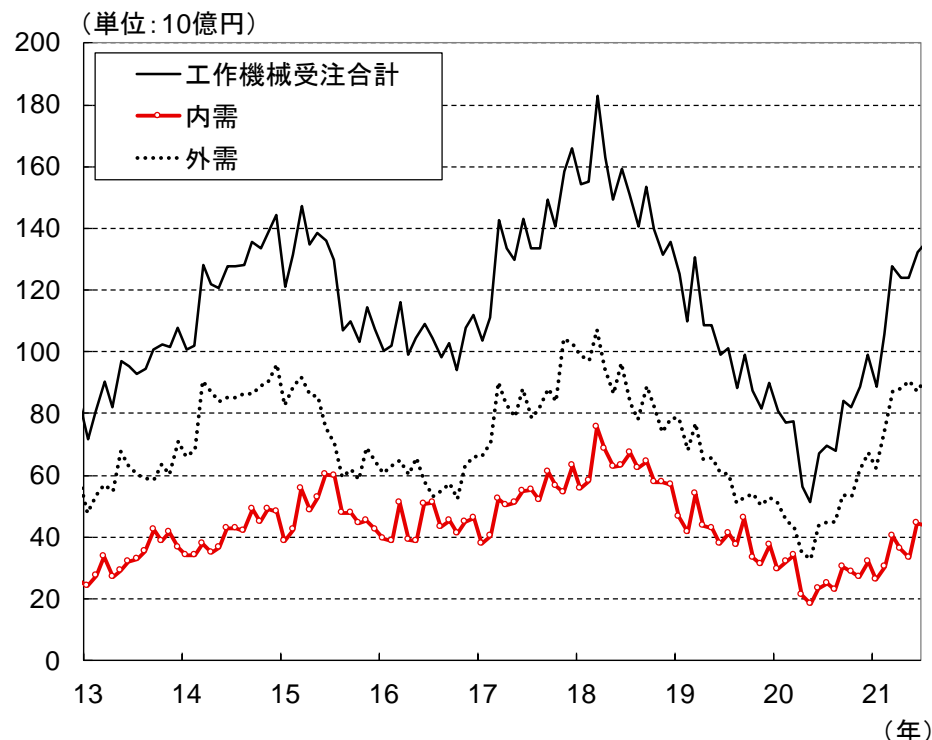
設備投資・機械受注

- 1-3月期の大企業の設備投資は前年比▲17.5%と4四半期ぶりに減少。製造業の落ち込みが大きく、非製造業は略横這い。
- 7月の全国の工作機械受注額は前年比+93.4%の1,349億円と、9カ月連続でプラス。このうち、外需は同+103.4%と9カ月連続で増加、内需は同+75.3%と5カ月連続で増加。

大企業の設備投資



工作機械受注額(全国)



(注)1. 『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。

2. 資本金10億円以上の企業を対象。

3. 設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。

4. 1社あたり投資額は設備投資額合計を回答法人数を除して算出

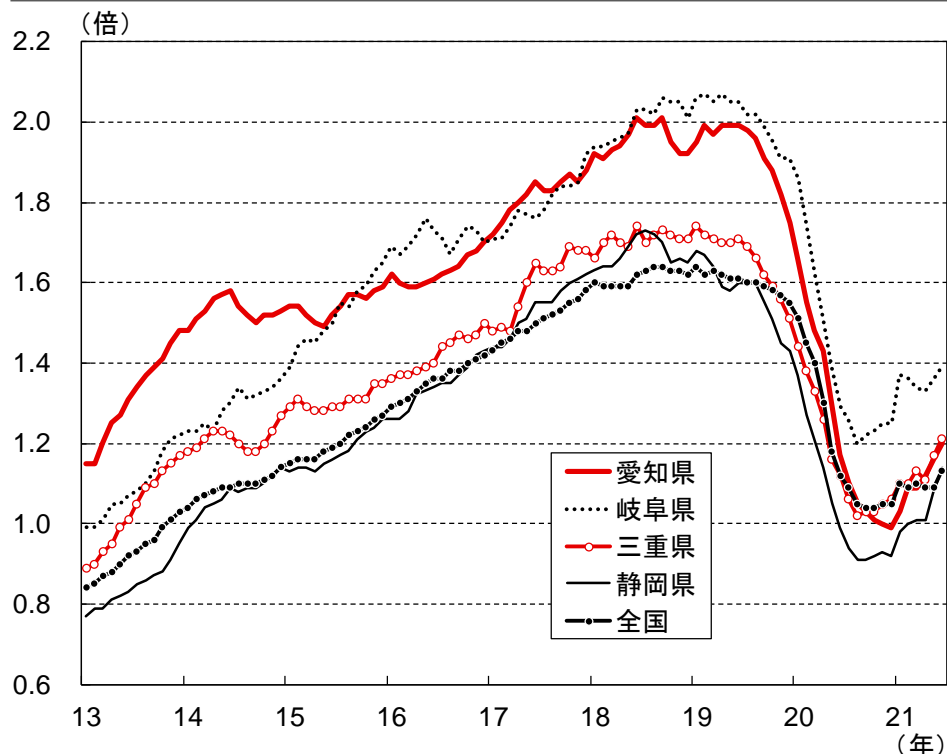
(資料) 東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

(資料) 日本工作機械工業会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

雇用・所得

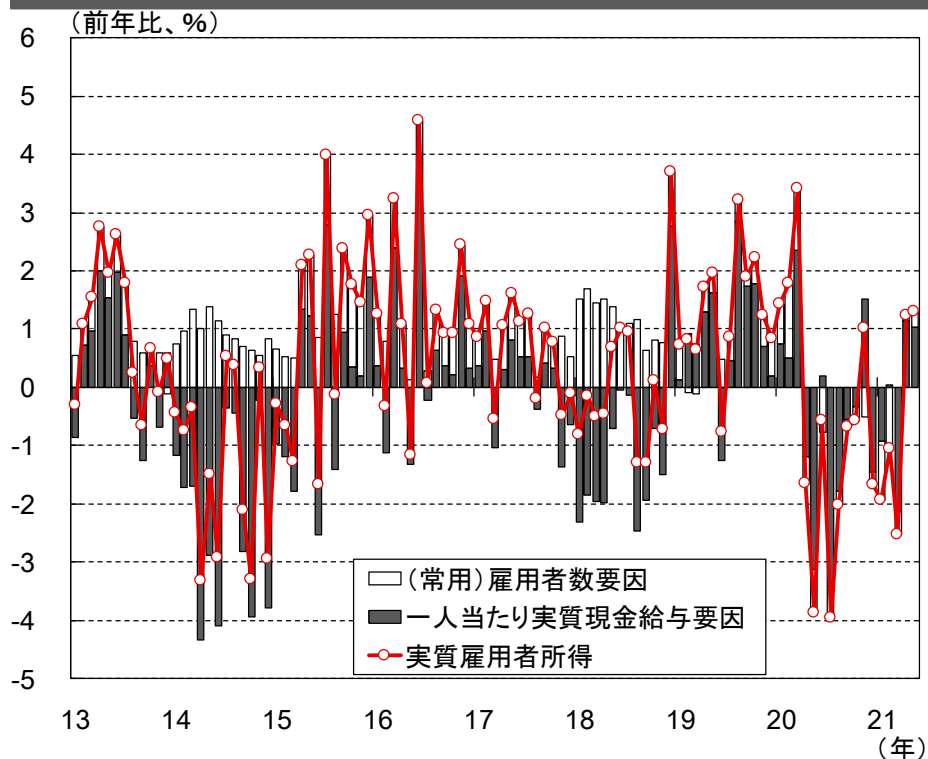
- 6月の有効求人倍率は東海4県でいずれも上昇。雇用市場のウエイトの大きい愛知県の水準(1.20倍)は全国(1.13倍)を3カ月連続で上回った。
- 5月の実質雇用者所得(3県合算)は前年比+1.3%と2カ月連続で増加。雇用者数、一人当たり賃金がともに押上げに寄与。

有効求人倍率



(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

実質雇用者所得(東海)

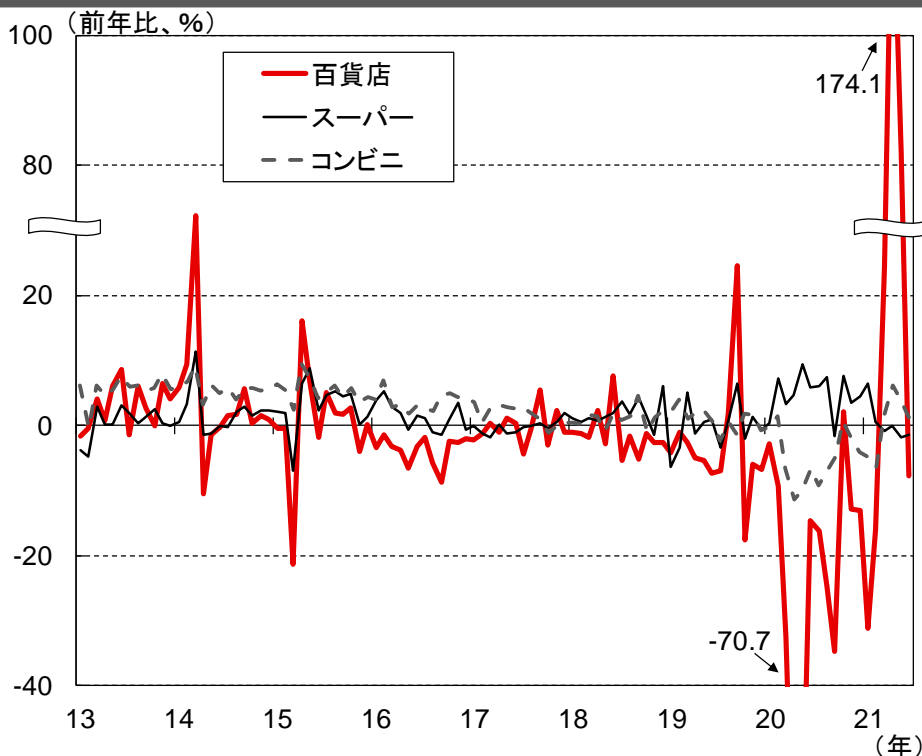


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)各県勤労統計、内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

個人消費・住宅投資

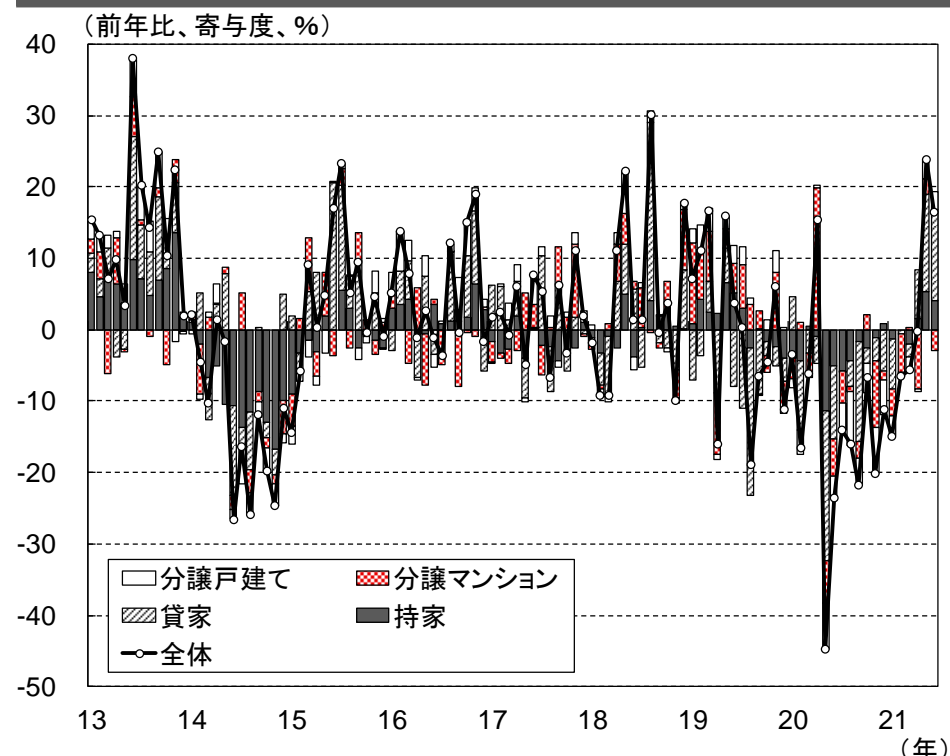
- 6月の小売主要3業態の販売額は、コンビニは前年比+1.1%と増加したが、スーパーが同▲1.5%、百貨店が同▲7.7%とそれぞれ減少。金額ではスーパーが1,499億円とコロナ禍前同月(1,373億円)を上回ったが、百貨店は345億円、コンビニは978億円と、それぞれコロナ禍前同月の8割程度、9割程度の水準に止まっている。
- 6月の新設住宅着工戸数は年率換算で8.6万戸、前年比では+16.4%と2ヵ月連続で増加。用途別では、分譲マンション(同▲29.4%)が減少した一方、分譲戸建て(同+12.5%)、持家(同+9.9%)、貸家(同+45.2%)は増加。水準はコロナ禍前同月の9割程度。

小売主要3業態の販売額(中部)



(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

新設住宅着工戸数(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

原油価格・円相場・株価

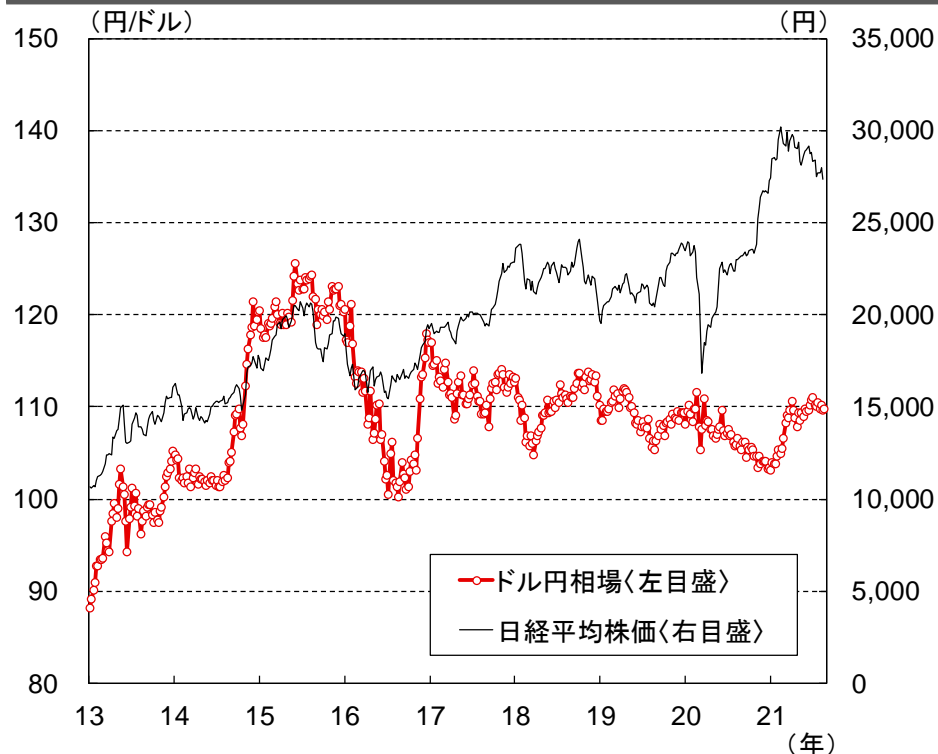
- 原油価格は、7月末に一時1バレル73ドル台まで上昇したが、世界的な新型コロナウイルスの感染再拡大により景気回復ペースが鈍化し原油需要が下振れするとの懸念などから、足元では同60ドル台まで下落。
- ドル円相場は、米国で量的緩和縮小(テーパリング)の年内開始観測が強まり長期金利が上昇したことを受け、足元では1ドル110円前後まで円安が進展。
- 日経平均株価は、米国でテーパリングの年内開始が意識されたことや、国内で新型コロナウイルスの感染拡大による景気回復ペースの鈍化が懸念されたことなどから、足元では27,000円台まで下落。

原油価格



(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

ドル円相場・日経平均株価



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室
〒460-8660 愛知県名古屋市中区錦2-20-15

照会先：中村 拓郎 e-mail：takurou_nakamura@mufg.jp